

1 高齢者が安心して暮らせる磐田市について

- (1) 市長は、高齢者が安心して暮らせるまちづくりとはどんな見解をお持ちですか、また、現状をどう捉えているか伺う。
- (2) 今後10年先の高齢化をどう見込んでいるか。特に世帯別の特徴などあれば伺う。またそれに伴う対応と課題について伺う。
- (3) 今後10年間の要介護(要支援)認定者の状況をどう見込んでいるか。認定率やそれに伴うおおよその予算規模などわかれば伺う。また、疾病に伴う医療費についても、65歳以上の高齢者の方々をどう見込んでいるか、伺う。
- (4) 認知症高齢者の現況をどう把握しているか。人数と具体的な認知症施策について伺う。また、今後10年間の見込みと具体的な施策、更には予防についての考え方を伺う。
- (5) 特別養護老人ホームと地域密着型のグループホームや小規模多機能型居宅介護について伺う。待機状況と今後、新設の予定があるか伺う。特養入所条件が介護度3以上になったことに伴い、地域密着型が補完になっているか伺う。
- (6) H29年度から新しい介護予防・日常生活支援総合事業が始まる予定であるが、次の点をお聞きする。
 - 利用の概要や手続きの具体的な仕方について
 - H29年度サービス移行までのスケジュール
 - 今までの介護給付や予防給付との関係性
 - 今回の事業で市民や事業所にとって今までと具体的に変わるところ、特に利用料について。
 - 市民への周知方法や地域が準備することがあるのか。
 - 地域包括ケアシステムの中で、総合事業をどう捉えているか。
- (7) まちづくりとして、今後の高齢者施策推進には、地域社会の役割（互助）、事業所の役割（共助）、行政の役割（公助）が重要と考えるが、この役割を機能的に進めるために磐田市はどうビジョンを立てていくのか伺う。

2 多文化共生を活かしたまちづくりについて

(1) 磐田市の外国人の数はH20年をピークに減ったが、最近再び増えている。人口の推移や国籍別、地域別、年齢別など現況をどう認識しているか伺う。

(2) 19歳以下の未成年層が、日本においては減っている中、外国人は増加傾向にある。磐田市の就学前・就学後の外国人児童の実態をどう把握し対応しているのか。また、課題や日本人との共生の状況等も踏まえ次の点について伺う。

保健指導、療育指導（受給者証の発行等含む）

幼稚園・保育園就園状況

公立小学校・中学校での就学状況（N I J IやJ S Lサポーターの運用、特別支援学級の利用等含む）

高校進学状況

就労状況

(3) 市役所の外国人情報窓口に多くの外国人が来ているが実態を伺う。多国籍の外国人が増えているが、対応に問題ないか伺う。

(4) 外国人の生活の実態と課題について次の点について伺う。

国保加入の状況

磐田市立総合病院の通訳の現況と課題

日本語教室の利用状況

防災の周知と訓練への参加状況

今後10年間に外国人高齢者が増えてくるが対応について

(5) 磐田市の企業とは具体的に情報交換など行っているのか伺う。

(6) 磐田市の多文化共生の今後の展望を伺う。

(7) 地域に定住化する外国人が気軽に相談でき、交流できる「ワンストップセンター」が必要と考えるが市長の考えを伺う。